

土木工学・建築学委員会都市・地域デザインの多様なアプローチ分科会  
第25期・第4回 議事要旨

日時 2021年7月26日（月）15:00～17:00

会場 遠隔会議

出席者

伊藤 香織・小野 悠・神吉 紀世子・斎尾 直子・坂井 文・佐々木 葉・船水 尚行・  
古谷 誠章・増田 聡・南 一誠・三輪 律江・村上 暁信・山田 あすか・山本 佳世子  
(18名中14名出席)

議題および決定事項

1) 委員からの話題提供

南委員、増田委員、神吉委員の3名が以下の題目で話題提供を行った。

・南委員「Adaptable Housing」

スケルトンインフィル住宅について、ヘルシンキ市のTila-Neo-Loft apartments、URアクティ汐留、多摩ニュータウンエステート鶴牧などが紹介された。居住空間の変容の履歴と地域社会との関係、水回りの自由度を高める排水技術、リノベーションの阻害要因、国際的観点から見たオープンビルディングなどについて質問やコメントがあげられた。

・増田委員「『震災復興シンポジウム・みやぎボイス』から『市役所本庁舎建て替え・ラウンドテーブル』へ」

復興過程の実態と課題の変遷を住民目線でモニタリングし、政策評価・提言に活かすための対話の場として2013年から毎年開催されている復興シンポジウム「みやぎボイス」と、その結果としての市役所本庁舎建て替えシンポジウム「仙台ラウンドテーブル」について紹介された。本質的な災害復興、専門家の役割などについて質問やコメントがあげられた。

・神吉委員「都市・建築基準ではない『公認』＝可能性評価ベースのデザイン」

和歌山や京都における歴史的地区の保全活動、ジャカルタ・ボロブドゥールのアーバン・ビレッジ撤去からの復帰運動などが紹介された。基準・規制に依存しない「公認 (officialization)」による持続的なプランニングの可能性について質問やコメントがあげられた。

2) その他

年間スケジュールについて確認が行われた。